

ブラジル日本移民研究の回顧、現状、課題

講師：森 幸一先生（ブラジル サンパウロ大学教授）

日 時 2010 年 7 月 10 日（土） 10:30 ～ 12:00
会 場 大阪大学豊中キャンパス 待兼山会館 2 階会議室（参加無料）
(<http://www.osaka-u.ac.jp/jp/annai/about/map/toyonaka.html> に地図があります)

要旨

ブラジルへの日本人移住が開始されて一世紀が過ぎ、すでに日系六世まで誕生しているブラジル日系「社会」、日系文化、移民・日系人はこれまで研究者や知識人たちによってどのように見つめられてきたのか。この問題を人文・社会科学分野を主にしながら、約一世紀にわたるブラジルにおける日本移民・日系研究の歴史を通じて概観する。この目的のために、日本移民・日系研究史を①政治性を反映した時代、②文化変容（同化論）論的立場からの研究の時代、③エスニシティ論的立場からの研究の時代、そして現在の研究状況（トランスナショナリズムの立場からの研究）とに時代区分し、それぞれの時代の代表的研究を紹介する。

講師略歴

専門は文化人類学、沖縄研究。

明治大学大学院終了後、カンピーナス州立大学大学院留学（ブラジル政府給付留学生）。博士（文学）（東北大学）。サンパウロ人文科学研究所所長を経て、現在、サンパウロ大学哲学・文学・人間科学部教授。サンパウロ大学日本文化研究所所長。

主な著作に、『ブラジル日系・沖縄系移民社会における言語接触』（共著）（ひつじ書房）（2009）、*De sol a sol - Japão que nasceu no Brasil*.（共著）（Ed.Terceira nome）（2008）、『沖縄民俗辞典』（共著）（吉川弘文館）（2008）、『目で見るブラジル日本移民の百年』（共著）（風響社）（2008）、『世界の食文化 中南米編』（共著）（農山漁村協会）（2007）、『複数の沖縄ーディアスポラから希望へ』（共著）（人文書院）（2006）などがある。

問合せ先：

大阪大学大学院文学研究科日本語学講座

TEL 06-6850-5134

E-mail: sbj@let.osaka-u.ac.jp